

2023年4月13日
日興アセットマネジメント株式会社

The World Bank Bond World Fund Supporter
世界銀行債券ファンド（毎月分配型）
愛称：ワールドサポーター

2023年4月の決算と今後の見通しについて

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

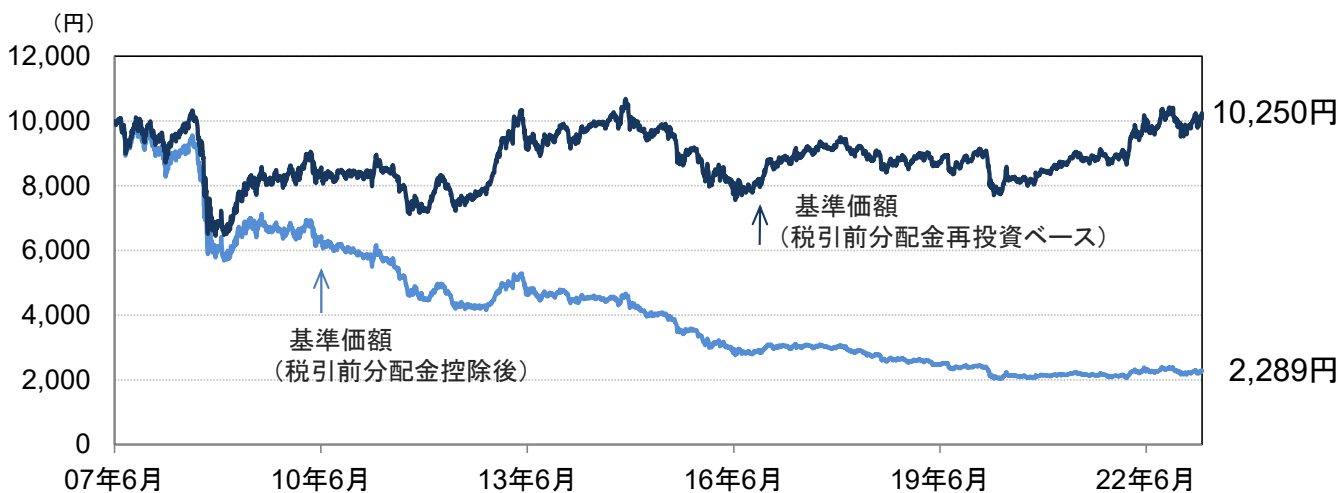
さて、ご愛顧いただいております「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）愛称：ワールドサポーター」は、2023年4月12日に決算を迎え、当期の分配金を5円（税引前、1万口当たり）に引き下げましたことをご報告申し上げます。

当ファンドは、毎月安定した収益分配をめざすという分配方針のもと、2020年3月からは毎月10円(同)の分配を行なってまいりましたが、市況動向や基準価額に対する分配金額の水準などを総合的に勘案し、分配金を引き下げて基準価額に対する分配金の比率を見直すことと致しました。

次ページ以降では、分配金額を変更した背景や当ファンドのパフォーマンス、今後の見通しなどについてQ&A形式でご説明しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、当ファンドをご愛顧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の推移（2007年6月21日（設定日）～2023年4月12日）



【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

2007年8月～ 2012年10月	2012年11月～ 2016年1月	2016年2月～ 2020年2月	2020年3月～ 2023年3月	2023年4月	設定来合計
60円/月	40円/月	20円/月	10円/月	5円	6,695円

今回の決算

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金額は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上の点にご留意ください。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

Q1：なぜ分配金額を変更したのですか？

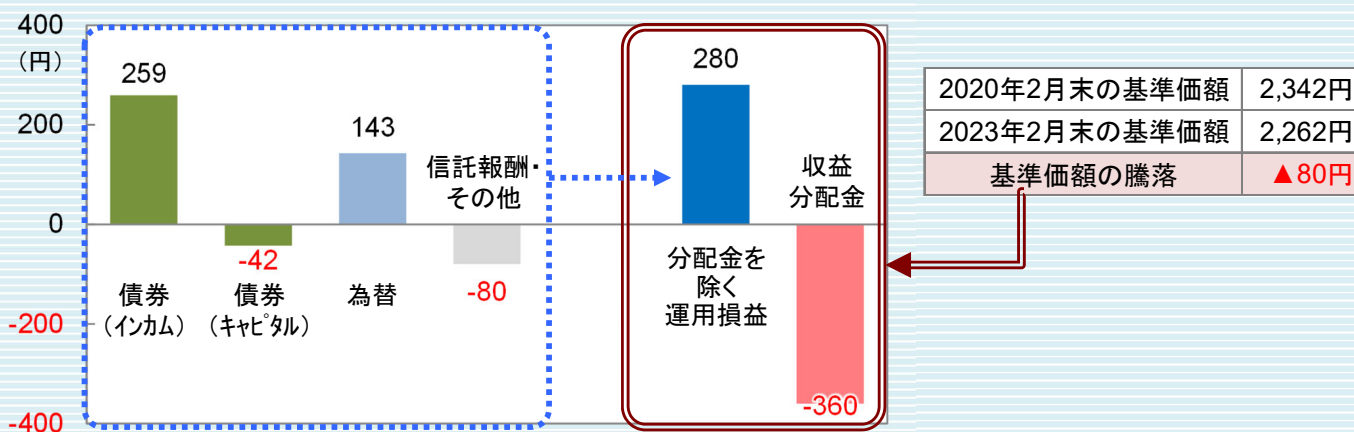
World
Supporter

前回、分配金額を変更した2020年3月以降、当ファンドのパフォーマンス(税引前分配金再投資ベース)は底堅く推移したものの、分配金の支払いなどに伴ない、基準価額(税引前分配金控除後)の水準が低下したためです。

分配金の支払いなどに伴って基準価額(税引前分配金控除後)水準が低下する中、今後も安定的な収益分配を継続するため、今回の決算において、分配金を引き下げることに致しました。

なお、引き下げられた分配金の差額分は信託財産に留保され、運用に振り向けられることから、今後、基準価額の下支え要因となります。

基準価額騰落の要因分解 (2020年3月～2023年2月)



(単位: 円)

年	基準価額の騰落要因					合計	収益分配金	各年末の基準価額 (税引前分配金控除後)
	債券		為替	信託報酬・その他				
	インカム収益	キャピタル収益						
2020年*	87	3	-164	-27	-102	-100	2,140	
2021年	91	-46	94	-36	103	-120	2,123	
2022年	72	-6	151	-12	206	-120	2,209	
2023年*	9	7	61	-4	73	-20	2,262	

*2020年は3月以降、2023年は2月まで

※ 要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

※ 基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

Q2：2020年以降の運用状況を教えてください

World
Supporter

2020年以降、当ファンドの基準価額は大きく下落する局面もありましたが、概ね堅調なパフォーマンス(税引前分配金再投資ベース)となりました。

- 当ファンドの基準価額は、2020年初頭にコロナ・ショックの影響から大きく下落しましたが、その後は先進国の金利低下や市場心理の回復、円安の進行などを受けて上昇基調となりました。2022年末には、日銀による長期金利の許容変動幅拡大を受けて円相場が急騰し、パフォーマンスの重石となったものの、基準価額の騰落率は+11.1%（税引前分配金再投資ベース、2019年12月末～2023年2月末）となりました。



基準価額の推移（税引前分配金再投資ベース、2019年12月末～2023年2月末）



期間別基準価額騰落率（税引前分配金再投資ベース）

期間 **A**

(2019年12月30日～
2020年5月7日)

- 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて市場心理が悪化、新興国からの資金流出懸念が強まる
- 原油価格の急落により、産油国通貨が大幅に下落

-14.6%

期間 **B**

(2020年5月7日～
2022年11月10日)

- 先進国の金利低下や商品価格の上昇、市場心理の回復などから新興国債券は堅調に推移
- 22年に入ると新興国でも利上げが相次ぎ、多くの投資通貨が対円で上昇

+34.5%

期間 **C**

(2022年11月10日～
2023年2月28日)

- 日銀による金融緩和政策の修正を受け、円相場が上昇
- 23年以降は、日銀が金融緩和政策の維持を決定したことなどから、再び円安傾向となる

-3.3%

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

Q3：ポートフォリオの状況を教えてください

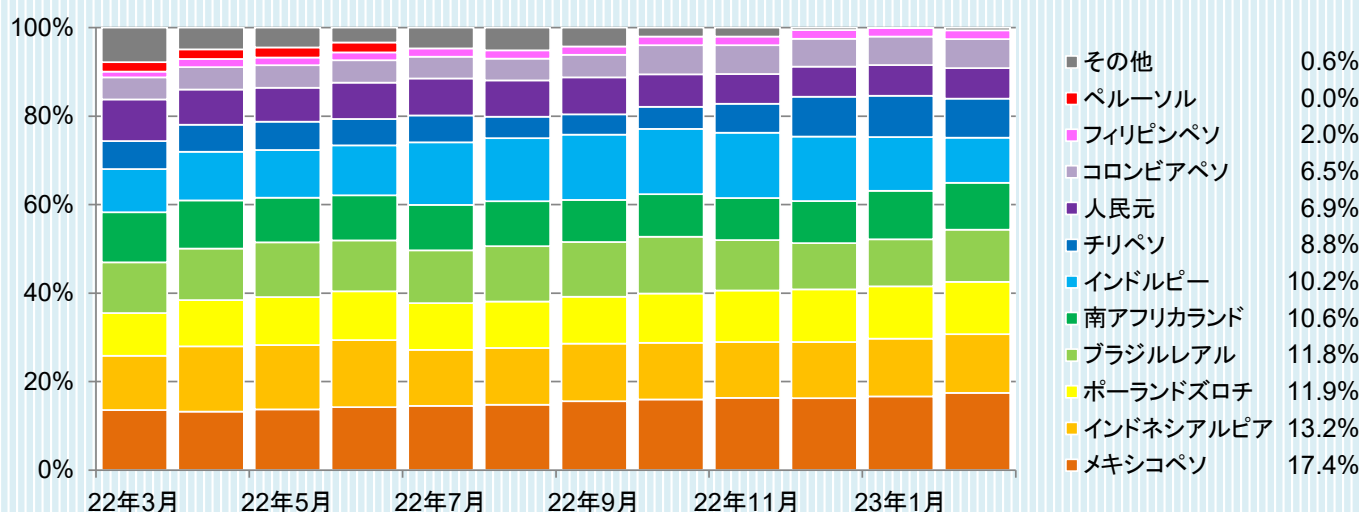
World
Supporter

過去1年における投資通貨の組入状況は、2022年7月にペルーソルを全売却しましたが、その他の通貨の入れ替えは行ないませんでした。組入比率に関しては、メキシコペソやポーランドズロチの比率を引き上げた一方、インドルピーや人民元の比率を引き下げました。

- メキシコは財政規律の維持や国際収支赤字の改善傾向、相対的に高い債券利回りや魅力的な通貨バリュエーションなどから投資魅力が高いと判断し、**メキシコペソ**の比率を徐々に引き上げました。
- ペルーでは政治的なリスクが継続していたため、昨年7月に**ペルーソル**を全売却しました。一方、チリは、ペルーと同様に工業用金属に対する中国からの需要拡大が支援材料となるほか、政治リスクが相対的に低いことから、**チリペソ**の比率を引き上げました。
- インドは中国に代わる新たなサプライチェーンの分散先になるとみられたことから、昨年夏にかけて**インドルピー**の比率を引き上げました。しかし中国のゼロコロナ政策の終了により、企業がサプライチェーンを見直す動きが一時的に後退する可能性を考慮し、足元で再び比率を引き下げました。
- ゼロコロナ政策の緩和・終了により、中国では株式市場への資金流入が拡大した一方、海外旅行などによるアウトバウンド支出の増加が見込まれました。また、欧米での需要縮小によって中国からの輸出が減少するとみられたことなどから、昨秋以降、**人民元**の比率を引き下げました。
- 昨秋以降、欧州でエネルギーの需給動向が改善に向かい、インフレのピークアウトが期待されたことから、**ポーランドズロチ**の組入比率を引き上げました。



外国通貨別構成比の推移（2022年3月末～2023年2月末）



※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからの情報をもとに作成しています。

※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の通貨別構成比率であり、外国投資信託の純資産総額に対する比率です。

※ その他や端数処理の関係で合計が100%とならない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元のポートフォリオの状況は下記の通りです。



主要投資対象ファンド*について

*「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」

【ポートフォリオ特性値】

(2023年2月末現在)

ポートフォリオの最終利回り	8.81%
ポートフォリオの直接利回り	2.69%
ポートフォリオの平均残存年数	1.33年

※ 利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
※ 利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからの情報をもとに作成しています。

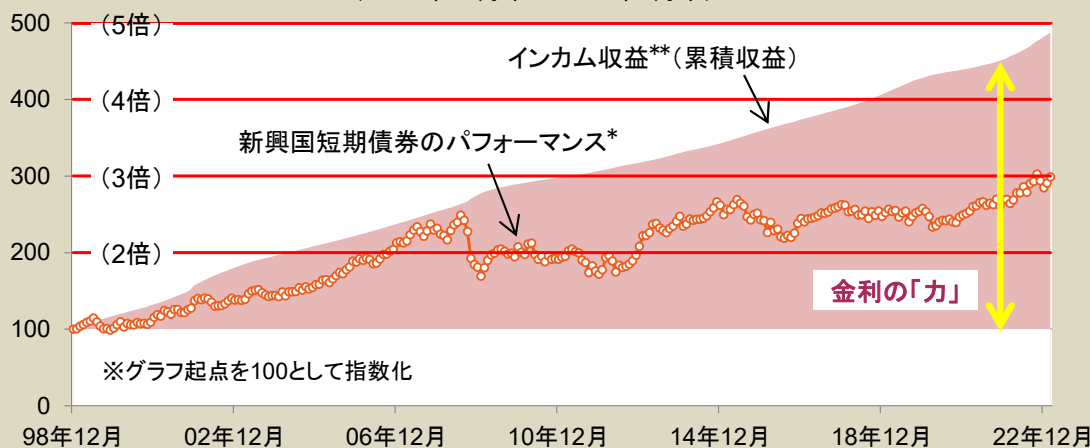
ご参考

投資成果を下支えするインカムの力

- 海外債券投資において、パフォーマンスをけん引する要因の一つに債券のインカム収益が挙げられます。当ファンドが投資対象とする新興国通貨建債券は、**相対的に金利水準が高く、中長期的なインカム収益の積み上げ**が期待できます。
- 当ファンドは高い信用力を持つ世界銀行債券を投資対象とするため、**信用リスクを抑えながら相対的に高いインカム収益を獲得**することが期待できます。また、**金利変動リスクを抑制**するために、短期債券を中心に投資を行ないます。

(ご参考)【新興国短期債券のパフォーマンス(円ベース)】

(1998年12月末～2023年2月末)



* 新興国短期債券のパフォーマンスは、債券価格とインカム収益を合わせた総合的な投資成果を表します。

** インカム収益は、下記インデックスの月末の利回りをを用いて日興アセットマネジメントが計算

※新興国短期債券: JPモルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラス(米ドルベース)を日興アセットマネジメントが円換算
※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

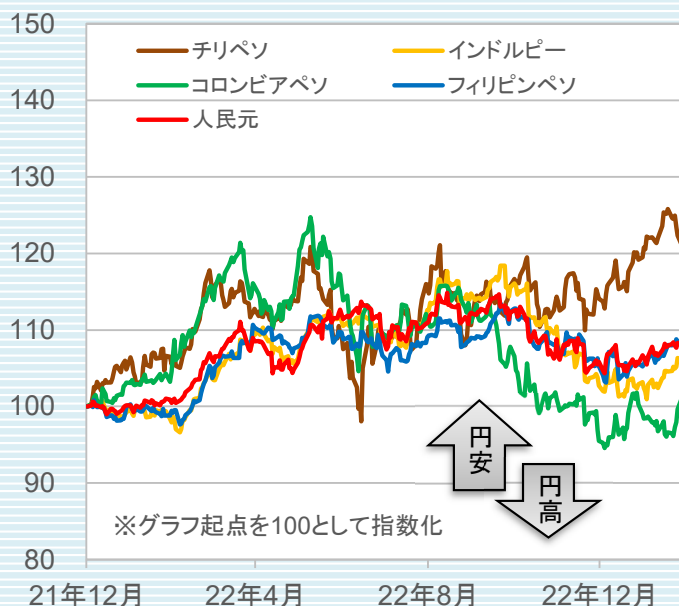
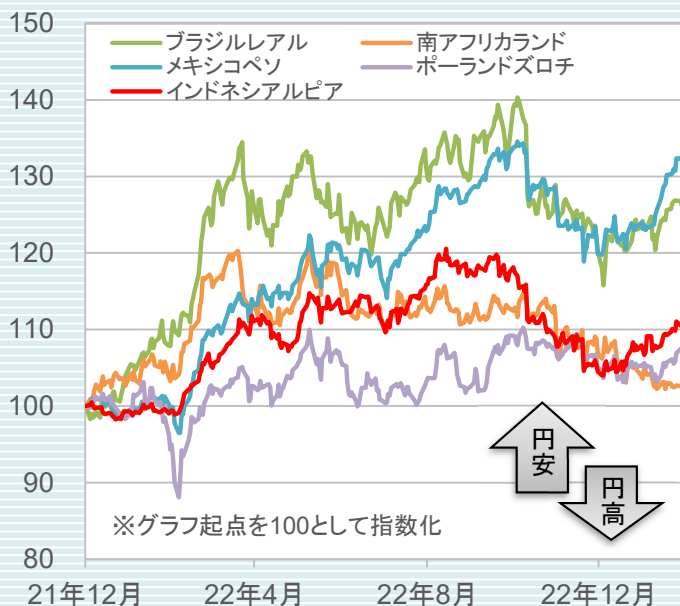
当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

(ご参考) 投資通貨の推移と金利水準

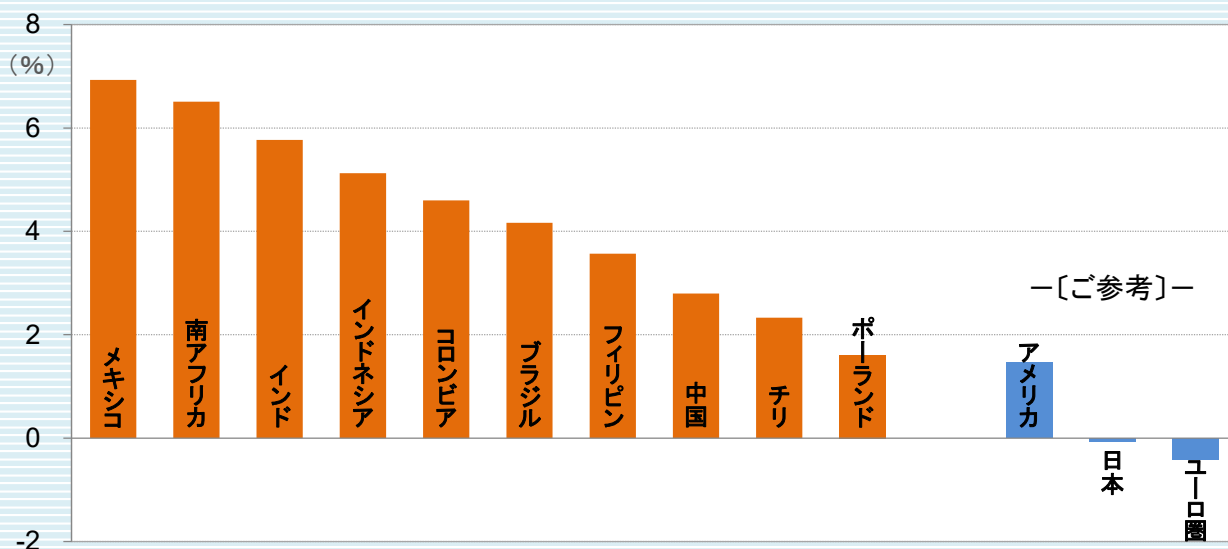
World
Supporter



主な投資通貨の為替相場(対円レート)の推移 (2021年12月31日～2023年2月28日)



投資国通貨の短期金利(3ヵ月物) (2023年2月末現在)




※ 上記は、2023年2月末時点における、当ファンドの主な投資国通貨の為替相場(対円レート)の推移および金利水準を示しています。
また、上記の金利水準は、実際の組入債券のものとは異なります。
※ 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。


Q4：主な投資通貨国の状況について教えてください。

World
Supporter




メキシコ

- 同国はUSMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）において、**自動車をはじめとするサプライチェーンの主要な製造ハブ**であり、通貨ペソの投資魅力は他と一線を画すと言えます。
- コロナ禍において、米国で大規模な財政刺激策が実施されたことで、**米国内のメキシコ人労働者からの本国への送金が増加**したほか、**米国で自動車の輸入需要が急拡大**したこともメキシコに恩恵をもたらしました。
- 加えて、メキシコは米国からの旅行先として人気を集めており、**インバウンド需要の拡大**が期待されます。




インドネシア

- 同国の実質金利（名目金利からインフレ率を差し引いた金利）は、**引き続き魅力的な水準**となっています。
- 資源国であるインドネシアは、中国のゼロコロナ政策終了に伴う**コモディティ需要の回復から恩恵を受ける**とみられます。
- インドネシア政府は産業の参入障壁を減らし、労働の柔軟性を高める構造改革を進めています。こうしたことは、同国への**直接投資を構造的に拡大させる**役割を果たしています。



ポーランド

- 昨秋以降、欧州ではエネルギー需給が改善されたことから、ポーランドでもインフレのピークアウトが期待されています。また、足元では**経常収支が黒字化したほか、貿易収支の赤字も改善の兆し**を見せています。
- 今年秋頃に行なわれる議会選挙では、長年続いてきた右翼政権が交代する可能性が高まっています。野党連合が政権を握れば、**より金融市場に配慮した政策に転換**されると見込まれます。



ブラジル

- インフレが鎮静化しつつあるにもかかわらず、同国中央銀行は長期的なインフレ見通しに基づき、金融引き締めに積極的なタカ派姿勢を維持しています。そのため、同国の**実質金利が上昇**しています。
- 同国には政治的なリスクはあるものの、外部環境は引き続き良好であり、鉄鉱石や大豆などの**主要な輸出品に対する中国からの需要が拡大**する可能性があります。

※ 上記は、2023年2月末時点の主な投資通貨国について記載しています。

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールド・バンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

Q5：新興国市場の見通しについて教えてください。

World
Supporter

中国の景気回復により新興国市場は堅調

- **昨年10月末以降、新興国債券は堅調な推移**を見せています。中国において、全国人民代表大会（全人代、国会に相当）が終了し、**政治的な不透明感が後退した**ことや、**ゼロコロナ政策の緩和が進んだ**ことなどがその背景にあります。現在、中国の経済は急速に正常化が進んでおり、同国と重要な貿易関係を持つ他の新興国市場の見通しも改善しつつあります。
- 一方で、多くの新興国では積極的な利上げの後、政策金利が高止まりしている状況です。そのため、今後数カ月のうちに**インフレは落ち着きを見せ、特に中南米や東欧諸国では利下げが開始される**とみています。



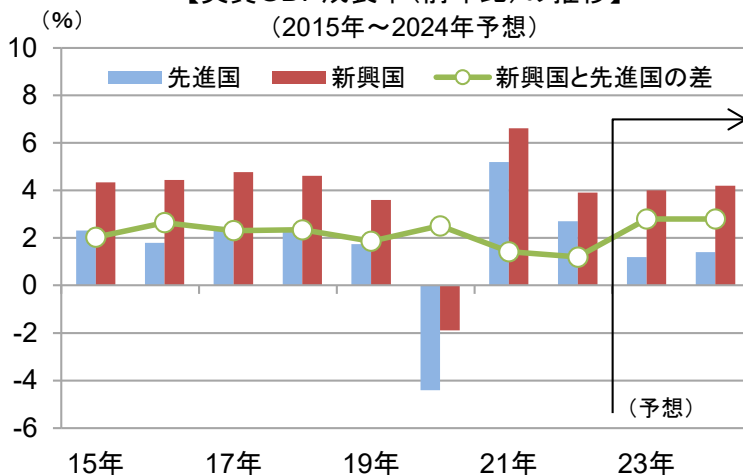
引き続き各国の状況を注視し、慎重に見極めを行なう

- ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から1年以上が経過しました。欧州の新興国市場にとって、地政学リスクは依然として警戒すべき材料ではありますが、大きな懸念事項であった**天然ガスの需給逼迫は、コストはかかったものの代替エネルギーの大幅な調達増加と暖冬による需要減によって改善**されました。欧州の天然ガス価格は昨年夏のピーク時から急速に低下しています。
- そのほか、今年5月に予定されるトルコの大統領選挙および議会選挙と、タイの下院総選挙についても注視しています。両選挙ともに、民主主義のあり方が問われる内容となることから、**結果次第では資産価格の下落につながる**恐れがあります。
- 当ファンドでは引き続き各国の状況を注視し、新興国市場を取り巻く状況を慎重に見極めながら、相対的に高い利回りと値上がり益の獲得をめざして運用を行なって参ります。



【実質GDP成長率（前年比）の推移】

（2015年～2024年予想）



出所：IMF「World Economic Outlook, October 2022」、
「World Economic Outlook Update, January 2023」

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方針あるいは考え方等を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

Q6：引き下げられた分配金はどうなるのですか？

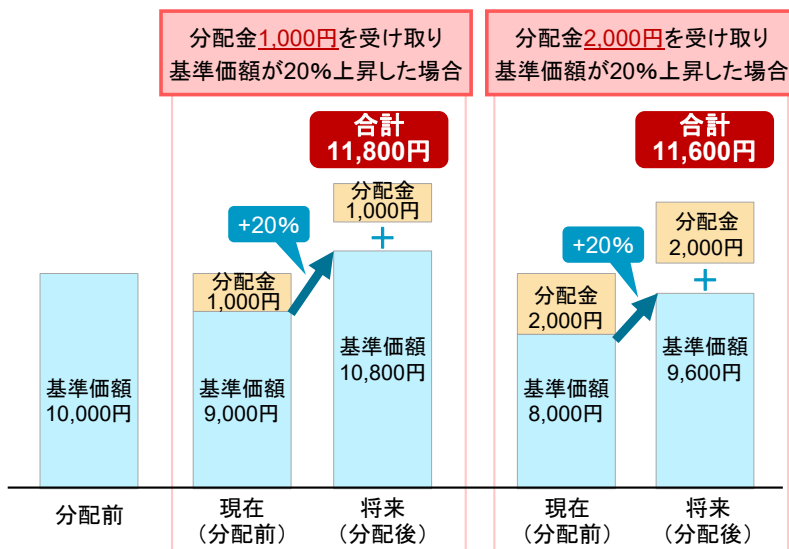
ファンドの信託財産として留保され、運用に振り向けられます。

分配金額の引き下げに伴う差額はファンドの信託財産に留保され、運用に振り向けられます。

運用者は、留保された資金をもとに、より多くの投資を行なうことが可能となります。

なお、投資資産の値上がりなどを通じて基準価額が上昇する局面では、分配金額を引き下げてファンドの基準価額を高く保った方が、分配金を多く支払って基準価額が低くなった場合に比べ、基準価額の上昇幅が大きくなります。

<分配金額の違いによる基準価額上昇時のイメージ>



※上記はイメージ図です。

Q7：分配金を多く支払うファンドに乗り換えた方がよいですか？

分配金額の多い／少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではありません。ファンドの運用成績は、トータルリターンで考えていただくことが重要です。

分配金はファンドの運用成果の一部として、決算日における受益者（投資者）の皆様へ、当該ファンドの信託財産の中から支払われるものです。こうしたことから、分配金が支払われると、当該分配金の分だけ基準価額は低下します。

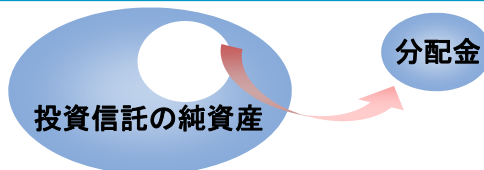
ファンドで得られた収益などをどのように配分する（分配金として支払う／内部留保として投資に振り向ける）かは、各ファンドによって異なることから、分配金額の多い／少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではありません。

よって、ファンドへの投資成果を検証される場合には、投資資金に対する分配金額の多寡ではなく、**基準価額の変動額と受取分配金を合わせた総合的な投資収支（＝トータルリターン）をもって行なうことが、重要であると考えます。**

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

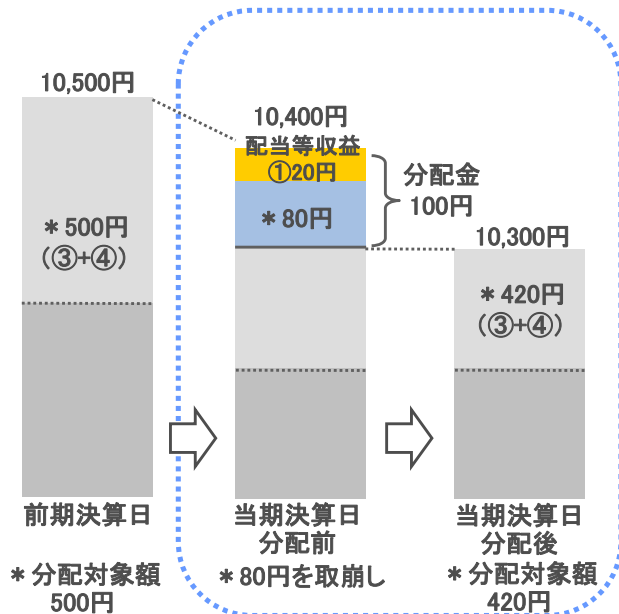
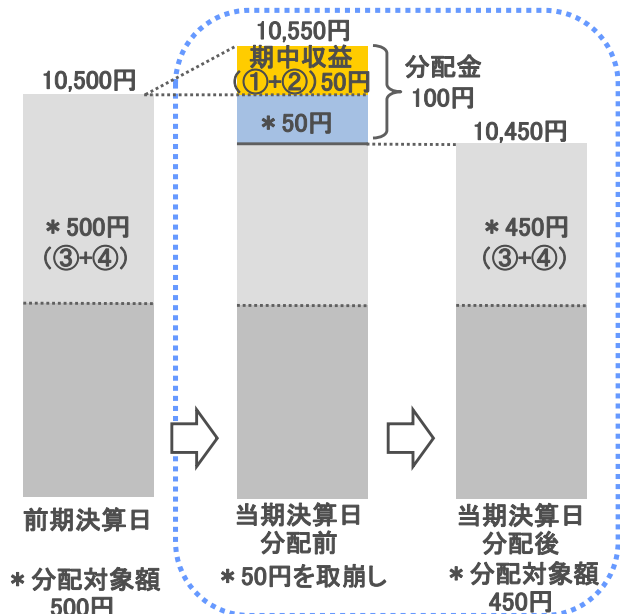


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合



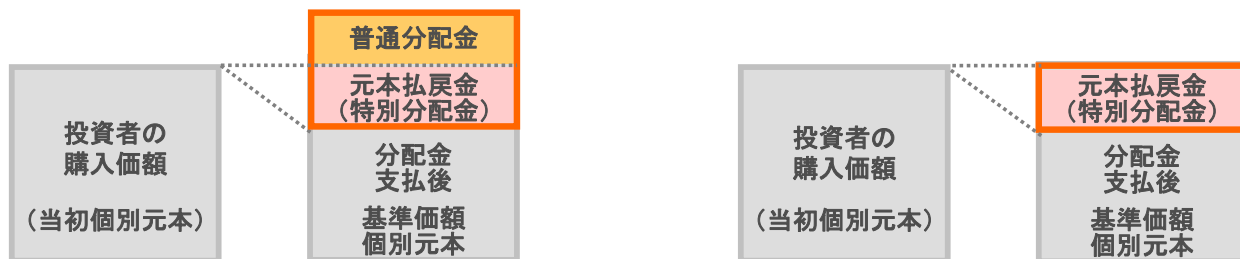
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

【お申込みメモ】

商品分類	追加型投信／海外／債券
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2007年6月21日設定)
決算日	毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

【手数料等の概要】

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し年率1.313%(税抜1.223%)程度が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.99%(税抜0.90%)、投資対象とするケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率が年率0.323%程度となります。 当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴い、実質的な信託報酬率も変動します。
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【お申込みに際しての留意事項】

リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様には「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

【委託会社、その他関係法人】

委託会社

日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社

野村信託銀行株式会社

販売会社

販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/
〔コールセンター〕 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○	
池田泉州T T証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○		
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○		
a uカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社S B I証券 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
株式会社S B I新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社S B I証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○	
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○		
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○	○	
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○	○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○	○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○	○	○
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○	○	
大和証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○	○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○
株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○	○	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	○
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○	○	
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○	○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○		
P a y P a y銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○	○
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第11号	○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第8号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。